



▲愛知啓成高校生が突き込み体験、稲葉・西町奉賛会の大鏡餅つき会場にて

2月 愛知県議会開会

■愛知県議会 2 月定例会開会

2 月 2 0 日から 2 月定例会が開会。当初提出議案は、新年度関係については一般会計、特別会計(1 1)、企業会計(4)の予算関係が 1 6 議案、知事等及び職員の給与の減額支給の制定などの条例関係が 2 5 議案、その他の議案が 1 1 件の 5 2 議案です。今年度関係は補正予算関係が 1 1 件、基金の存続期限の延長の条例の一部改正が 6 件、その他議案が 8 件です。

また、議会側からは、初日に「**北朝鮮の核実験実施に対する抗議についての決議**」を議決するほか、政務活動費(現政務調査費)の条例改正、議員報酬削減や歯と口の健康づくり推進の議員提案条例等が予定されています。2 1 日から委員会毎の議案説明、2 8 日から代表質問に続き一般質問、3 月 7 日から議案質疑、1 2 日には一斉委員会を開き早く議決を要する今年度関係を審議、議決。1 4 日からの委員会審議を経て 3 月 2 6 日の最終日の本会議で議決、閉会の予定です。

●一般会計収支不足 1,600 億円の解消

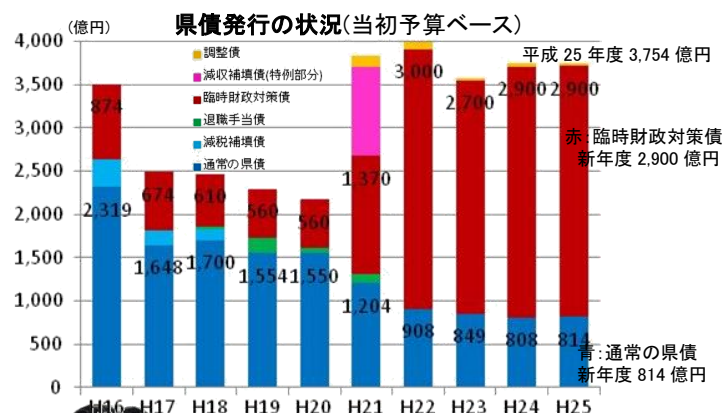
(単位：億円、臨時財政対策債は県債ではなく交付税等に計上)

1 月試算時点の 1,600 億円の収支不足に対しては、**a. 2 4 年度に取り崩しを取りやめた減債基金(767 億円)の再活用、b. 更なる財源の確保として、減債基金等の取り崩し 152 億円、**税収見込みの精査、地方財政措置の確保(臨時財政対策債 100 億円上乗せ)、**c. 臨時的・緊急避難的な措置として、基金からの繰入運用 338 億円、職員の給与抑制 151 億円により解消。**

一般会計 2 兆 2,284 億円

24年度	区 分	25年度	25年度試算	増減	備 考(試算からの増減等)
6, 985	人件費	6, 822	7, 000	▲178	臨時的給与抑制▲151億円
2, 196	扶助費	2, 280	2, 300	▲20	
3, 559	公債費	3, 692	3, 700	▲8	
2, 225	投資的経費	2, 254	2, 000	254	国新年度予算編成による増
2, 735	税交付金等	2, 595	2, 500	95	
4, 846	その他	4, 641	4, 500	141	
22, 546	歳出計	22, 284	22, 000	284	
8, 847	県 税	9, 167	9, 100	67	法人二税(更に 44 億円増)等精査
3, 500	交付税等	3, 300	3, 200	100	臨財債試算 2,800→2,900 億円 交付税H24 年 600→400 億円
846 (3, 746)	県 債 (臨財債含む)	854 (3, 754)	800 (3, 600)	54	通常の県債 H24 年 808→814 億円
9, 353	その他	8, 963	7, 300	1, 663	減債基金取崩しの一部取止め(767億円)の再活用等
22, 546	歳入計	22, 284	20, 400	1, 884	対H24 年度伸率98. 8%
	収支不足	解 消	▲1, 600	1, 600	

は対前年度 1.2%減となるが、国の補正等を踏まえ公共工事等を中心とした今年度の 2 月補正分を加えた所謂 **15 カ月予算は2兆 2,809 億円、額にして 263 億円、1.2%の増。**補正内容は、国の予備費を活用した第一弾経済対策関連約 7 億円、同第二弾関連約 112 億円、国の補正予算関連約 406 億円の計 525 億円。新年度の社会資本整備等に充当する通常の県債は微増、残高は年々減少しているが、臨時財政対策債等の特例的な県債を含めた 25 年度末の県債残高は 5 兆 2 千億円超となる見込み。



STEP 21 県政 REPORT



民主党県議団 **すずき純**



鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島 11-24
Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp

1302

●予算編成、3つの重点施策と7つの柱

新年度予算は、日本一の産業集積力という愛知の強みを更に高めていくための重点施策として、Ⅰ. 産業競争力の強化、Ⅱ. 県民のくらしの安心・安全の確保、Ⅲ. 愛知の飛躍に向けた新たな取組を掲げ、また、マニフェストを推進する施策として今年度同様、①元気な経済・産業・地域づくり、②安全で災害に強い地域づくり、③環境首都愛知づくり、④安心できる健康・医療・福祉社会づくり、⑤教育・文化立県あいちづくり、⑥地域の潜在力を引き出す社会基盤づくり、⑦自立・分権・協働の行財政体制づくりの7つの柱に基づいて編成。

Ⅰ. 産業競争力の強化

○航空宇宙産業の振興：県営名古屋空港に民間航空機の生産・整備拠点の整備に着手(新規8千万円)、不動産取得税の課税免除規定を新設

○宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)の開催支援：6月2日～9日、名古屋国際会議場

○産業空洞化対策減税基金：新年度も引続き法人県民税の10%相当額50億円を積立、大規模投資案件(限度額100億円)・中小規模の投資案件(同10億円)・研究開発等(同2億円)など企業支援

○花き生産額50年連続全国一：「花の王国あいち」をPR(新規7百万円)、あいち花フェスタ開催(11月、西尾市)、全国都市緑化フェア開催(愛知万博10周年の平成27年度予定)準備



Ⅱ. 県民のくらしの安心・安全の確保

○道路・河川・農業農村整備等の社会基盤にかかる公共事業：15カ月予算1,583億円(対24年度285億円、21.9%増)

○地震防災対策：第3次あいち地震対策アクションプランの1年前倒し策定、県立高校・医療施設の耐震化、災害対策本部室等を自治センターに移転集約(新規2千万円)、本年度新設の災害医療コーディネーターの活用による災害医療体制の強化(新規2百万円)等

○児童虐待防止対策：児童虐待防止医療ネットワーク事業(新規5百万円)、尾張地域に定員30名の一時保護所整備(新規11百万円)

Ⅲ. 愛知の飛躍に向けた新たな取組

○あいち国際戦略プラン：アジア諸国の技術系を中心とする留学生の受入等(新規18百万円)、スーパーイングリッシュハブスクールなどあいちグローバル人材育成事業(新規26百万円)

○スポーツ大会を活かした地域振興：スポーツ活用型地域活性化検討調査(新規2百万円)、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知支援

○民間活力の積極的な導入：県道路公社管理の有料道路への民間事業者の参入(コンセッション方式の導入)へ向けた特区計画の策定(新規17百万円)、平針の運転免許試験場などPFI導入による老朽化する県有施設の建替え検討(新規2百万円)

○地域づくりビジョン：中京都構想の目指す？世界と闘える愛知・名古屋を始め更なる愛知の発展に向け新しい地域づくりビジョンを策定(新規13百万円)



◆地域振興環境委員会県外調査

2月4・5日、九州大学水素ステーション、北九州水素タウン、北九州フィルムコミッションに委員の3人で調査。燃料電池車(FCV)は昨年の資源エネルギー庁の調査に続くもので、今回は実際に700気圧の水素ステーション(設置費用6億円が2億円程度に?)の現地調査、航続距離が500kmを越える(トヨタFCV-Rは700km)燃料電池車(1億円が2015年の市場投入時は500万円を切る?)に試乗しました。世界の水素エネルギー分野をリードする九州大学(伊都新キャンパス)を核とした取組に圧倒されます。



2月22日尾張大國神社饗神事(国府宮はだか祭り)

3月1日稲沢市議会3月定例会開会

2・3日第7回いなざわ梅まつり

7日中学校卒業式

19日小学校卒業式

STEP21



交通事故統計の訂正によりH22年の死者

スト1位に、結局H15年から昨年まで連続10年愛知県が1位でした。年度途中の制度改変に伴う退職問題も残念です。大鏡餅の無事の奉納、16才高梨沙羅選手の活躍を祈念して 未来へつづくまちづくりへ 一生懸命動きます。 愛知県議会議員 鈴木じゅん